

# 描かれた「あの日」と「ソレカラ」

～三浦麻衣子さんの心のスケッチ～

「のぞみ福祉作業所」に通う三浦麻衣子さんは、絵を描くことが大好きで、日記をつづっていました。その中には、あの日のことも描かれていました。



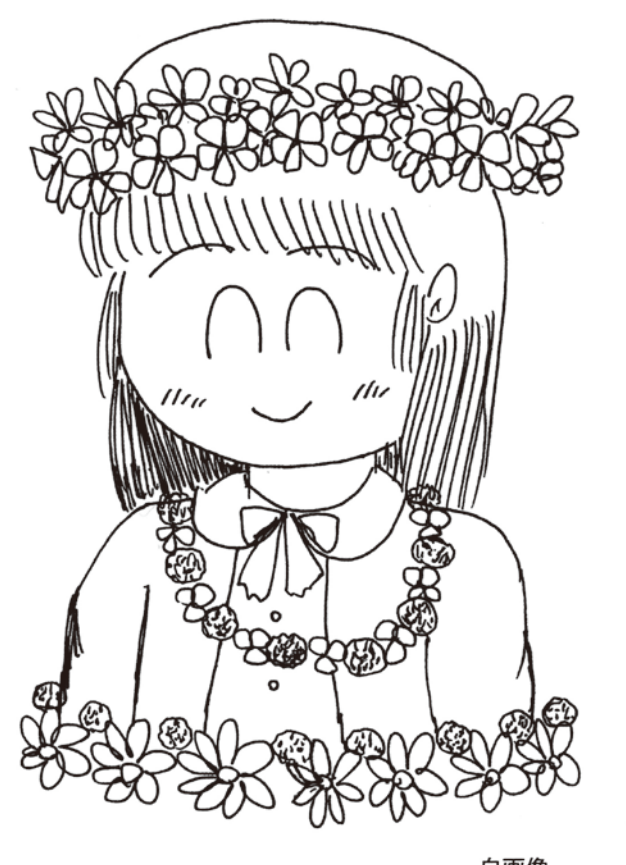
**あの日**

あの日、街を飲み込んだ津波は、  
麻衣子さんの大好きな場所、  
大親友のお人形、  
たくさんの宝物たちを、  
みんな奪いました。



**ソレカラ**

大変な避難所生活、  
大切なものをなくした悲しみ。  
でも麻衣子さんは  
それを乗り越えて、  
新しい宝物たちと共に、  
再び前へ進み始めました。



作者：三浦麻衣子  
昭和51年 宮城県南三陸町生まれ

震災時は南三陸町歌津地区の  
社会福祉法人 洗心会  
風の里に通所